

こころ

議会だより

臨時号

2015.5.28 発行
愛知県幸田町議会



4年間よろしくお願ひします

新しい議会が スタート

5月12日に、第2回臨時会が開かれ、正副議長をはじめ、各委員会の構成、役職を決定し、監査委員の選任に同意しました。

就任のごあいさつ



議長
浅井 武光
[68歳]坂崎区(現)

安全、安心、
豊かな町づくり

町民の皆さまには、日頃から町政に温かいご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび、私は、幸田町議会の議長を拝命いたしました。議員として、三期目を迎えますが、議長の重責に身の引き締る思いであります。

私の基本姿勢である

「災害に強い住みよい町」

「全町民が安定した生活ができる町」

「未来を担う子供達が健康やかに育つ町」

「高齢者を敬い大切にする町」

このことを念頭にこれか

らは議長として職務を全力で遂行していきたいと思えます。

先の見えない福島原発、沖繩の基地問題、集団的自衛権に始まり憲法問題、少子高齢化等、これらは他人事ではありません。この時こそ、地方自治の力を発揮しなければなりません。そのためにも議会の果たす役割は非常に重要であると思えます。「私達の幸田町は私達の方で」、豊かな町にするために、町民の代表として微力ではありますが自覚をもって誠心誠意努力してゆく所存でございます。

このことを念頭にこれか



副議長
水野 千代子
[63歳]岩堀区(現)

一人の小さな声を
町政に届ける

皆さまのご支援により、大好きな幸田町のために働く機会を与えていただきました。

社会の多様化、地方分権が本格化する中で、特徴を生かしたまちづくりをすすめていくために、一人ひとりの小さな声を聴き、地域の課題をキャッチし、町政に届けてまいります。

町民の生命と財産を守るため、防災・防犯対策の強化。浸水対策として、広田川改修、菱池遊水地建設。子育て支援として、病後児保育、障がい児童・生徒の支援拡充。子どもの居場所づくりに取り組みます。

超高齢化社会を迎えるに

あたり、介護予防の推進「地域包括ケアシステム」の構築。

男女共同参画の推進。開かれた議会をめざし、議会改革をすすめます。

そして、若者も高齢者も、今住んでいる地域で安心して生活できるまちづくりに取り組んでまいります。

副議長として誠実に職務を全うし、議長の補佐役として全力で努力をしてまいります。

超高齢化社会を迎えるに

健康で安心して暮せる町

足立初雄 「67歳」
大草区（新）



このたび、地元皆さまを始め、町民の方々の温かいご支援・ご協力を賜り、新人議員としてスタートすることになりました。

幸田町が町民の皆さまにとって、幸福に暮せる町になることを願い、その思いを町政に反映すべく、誠心誠意努力を致します。幸福の第一歩は、健康で



暮せることと考えております。防災・防犯体制が整い、住みよい自然環境があること。

適度な運動、定期的な健康診断がおこなえること。

心の栄養となる文化や芸術を楽しめ、お互いが助け合える絆があることなど。

健康で安心して暮せるためには、色々な施策が必要になってまいります。

「幸福は自分の心が決める」という名言があります。が、皆さまの幸福感をお聞かせ戴き、その達成のために一生懸命頑張ります。今後ともご指導、ご協力をよろしくお願い致します。

みんなのでつくる元気な町

伊與田伸吾 「67歳」
高力区（新）



このたびの町議会議員選挙では、地域のみなさまを始め多くの町民の方々から温かいご支援をいただき、町村合併以来の無投票当選の栄を賜りました。

新人議員として、その責任の重さを感じています。幸田町では、人と自然と産業の調和のとれた町づく

安全で安心な住みたいふるさとづくり

稲吉照夫 「68歳」
芦谷区（新）



このたびの町議会議員選挙に、多くの地元の皆さまのご支援をいただき、無投票という結果ではありましたが、当選させていただき、責任の重さに身の引き締まる思いでございます。

現在幸田町の人口は増え続けています。他地域から移り住む方々に、幸田町ってどんな町なのか、どんな歴史があるのかを知って

りに向け諸施策の取組みがすすめられています。

私も町民の一人として、また一議員として、みなさまと一緒に「安全、安心で元気な町・災害のない住みよい町・住みたくなる町づく

り」をめざすとともに、地域がかかえる課題にも誠実に誠意をもって取組んでまいります。

今後とも、一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



ただくことが大切と考えます。例えば各地域の祭の由来など知っていただくため、子供のころから参加し、触れることにより、子・孫へと、伝統が伝え守られるのではないのでしょうか。

幸田町の玄関はJR幸田駅と考えています。現状では淋しい限りです。駅前の開発、芦谷蒲郡線の拡幅計画もすすみつつあります。

また、六栗区の住宅開発もすすんでいます。しかし、どんな街づくり構想なのか見えていません。駅舎を含めた周辺地域全体の街づくりを推しすすめる必要があると考えています。

皆さまの声に耳を傾け、住民目線で町政に向ってまいります。ご支援・ご指導よろしく申し上げます。

安全・安心で 住みよい町づくり

鈴木重一 [69歳]

横落区 (新)



この度、新人議員として町議会での活躍の場を与えていただきました。

結果的に無投票という事は、責任の重さが2倍あるものと自覚し、精一杯頑張る所存です。

私は、「安全・安心で住みよい町づくり」「豊かな自然を大切にする町づく

安全・安心な まちづくり

杉浦あきら [66歳]

鷺田区 (現)



皆さまの支援により、2期目の当選をさせていただきました。新人の時にその責任の重さを感じています。

人口減少時代に入っていますが、幸田町はまだ人口が増加していくと思われま

り」「子どもや、高齢者が健康に暮らせる町づくり」「少子高齢化のすすむ中、高齢者・障がい者への思いやりのある町づくり」「環境にやさしい町づくり」をスローガンに、全力で取り組んでまいります。

そして、いつ起きるかわからない災害を最小限に抑え、犯罪を未然に防ぐ事が地域住民の「絆」や「つな



がり」にあると思います。子どもたちやお年寄りが元気でみんなが幸田町に住んでよかったと思える町づくりを目指してまいります。

皆さまの要望や意見を良くお聞きして町政に届けるのが私の仕事です。今後一層のご支援、ご指導をよろしくお願い申し上げます。

私は安全・安心なまちづくり、子育て環境の整備、健康な生活環境づくりなどを推進していき、子ども・高齢者が安心して、楽しく生活できるような幸田町を築いていきたいと考えております。

そのために、住民の皆さまの幅広い世代の意見や要望をできるだけ多くお聞きして、議会に届けたいと思います。

今後とも皆さまのご支援、ご指導をお願いいたします。

快適で活力ある 幸田をめざして

志賀恒男 [67歳]

六栗区 (現)



りに、積極的に取り組みます。

また、農産物のブランド化、地産地消の拡大推進道の駅の発展や工業製品の先端産業・次世代産業への誘導、そして町内の商工業の活性化に努力します。

皆さまのご支援により、2期目の議員活動をさせていただくことになりました。

日本経済は、企業業績の改善、賃上げにより、徐々に回復傾向にあります。この流れを幸田町に呼び込むことが重要です。

町内には、南北に東海道線、国道248号、東西に23号バイパスが通っています。この交通資源を活用した町づくり、企業誘致、雇用の拡大に尽力します。

今後の人口増に対応し、子育て支援、教育環境の整備、子どもから高齢者まで快適な毎日が過せる町づく

今後とも、皆さまのご支援、ご指導をよろしくお願いいたします。



安全・安心・ 活力ある町づくり

鈴木雅史「71歳」

野場区（現）



皆さまのご支援により2期目の議席をいただきました。

選挙の期間中にも皆さまの議員に対する期待の大きさ、また、多くの助言もいただきました。

私は地域の代表として町・県・国とのパイプ役として地域発展に努めます。

議員になって感じたことは、住民要望の多くは国・県関連の要望が多いことです。例えば県道・一般国道は県が維持管理。一級河川の維持管理も県がおこなっています。町と連携し要望事項の実現に努めます。

最近の幸田町をめぐる状況は、永年念願の菱池遊水地構想も動き出し、企業の進出も予定されています。幸田町の生活発展は、山や農地などの自然、鉄道や国道などの交通に恵まれています。人口問題も全国的

に人口減少が問題となる中、幸田町は人口が増加しています。

今後も交通渋滞の緩和、調和のとれた町づくり、安全・安心な地域づくりに努力します。

今後とも、皆さまのご支援・指導をよろしくお願ひします。

ずっと住み続けたい まちづくり

酒向弘康「60歳」

里区（現）



田町は人口増加が続き、今年度中に4万人の達成が見込まれています。

「さらなる子育て支援や放課後の居場所づくり」「農業・商工業の活性化」をすすめます。

福祉・ふるさと そして、教育

中根久治「71歳」

市場区（現）



地元の皆さまはじめ多くの町民の方々のご支援、ご声援を頂き、再度、議席を賜りました。

今回の選挙には、統一地方選挙で課題とされてきたことが幸田町にも顕在化されています。一つは議員の高齢化、次は低投票率、そして無投票です。議会の役割、議員の使命について

は議論を待つまでもありませんが、この部分の自覚が薄れてきたのが現実であります。議会人としてこの命題に取り組むことから始めていきます。それが隗より始めることと思えます。

「福祉・ふるさと、そして教育」は私の一期目からのテーマです。幼児教育に携わった経験と、私自身が高齢者であることの見識から老人と子どもにとって最適な社会空間の実現に努力します。

自然と歴史と文化がふるさとの大切な要素です。J



Rを利用して、ぶらりと訪ねてみたくなるような遠来の客が増える町をめざします。

三たび町政の場で働く機会を与えていただきました。責任の重さを自覚しつつ初心を忘れず住民のみなさんの負託にこたえるべく議員活動を続けてまいります。

2040年には、全国の自治体の半分が消滅する可能性があるとされる中、幸田町にしたい」という強い思いで、情熱と行動力をもって汗を流していきたいと思っております。よろしくお願ひ申し上げます。

身近で親しみの ある議会

大嶽 弘「70歳」

幸田区（現）



皆さまのご支援により、再度、議席を賜りました。与えられた日々を皆さまと共に頑張りたいと考えます。

今回の統一地方選挙では、無投票当選や投票率の低下が話題となりました。いろいろな原因があると考えますが、議会人として

反省する点は、素直に受け入れていきたいと思えます。

日常生活と関連し、より身近で親しみやすい議会となるよう微力ではありますが努力してまいります。各地域、各団体などで、課題となっていることを取り上げ、共に知恵を出し合い解決に向け努力することが住民福祉の向上になると考えます。

日頃の議会の様子を分かりやすくお伝えし、皆さまの日頃のご意見、ご提言を議会に反映させることが第一歩と考えます。今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。

安全と安心で 住みよい町づくり

池田久男「72歳」

岩堀区（現）



この度、町民の皆さまの無投票という信任により、三期目を務めさせていただくこととなり、あらためて責任の重さに身の引き締まる思いでございます。

これまで私は、「安全と安心で住みよい町づくり」の姿勢で、全力で取り組んでまいりました。

幸せの町、 幸田町をめざし

笹野康男「68歳」

里区（現）



「安全で住みよい町、安心して暮らせる幸せな町」この事こそ町民の望んでいる町だと思っています。議員として、また議会として何ができるか、真剣に考えなければいけないと思っております。

議会と住民との距離を短くし、対話集会を通じた議会報告を実施します。

私の三期目にかける思いは「さらなる住みよい町づくり」であります。このためには、町民の皆さまと一緒に町民福祉の向上、より住みやすい

町づくりに努めてまいります。初心を忘れずに精一杯努力してまいりますので、皆さまのご支援ご指導を、よろしくお願い申し上げます。



これからますます少子高齢化社会を迎える中で、福祉、子育て施策の充実を考えなければなりません。「幸せの町、幸田町」をめざすためにも住民と共に行動できる議員として頑張りたいです。今後一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

これからの時代、少子高齢化社会を迎える中で、福祉、子育て施策の充実を考えなければなりません。「幸せの町、幸田町」をめざすためにも住民と共に行動できる議員として頑張りたいです。今後一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。





伊藤 宗次 [72歳]
荻区 (現)
**行政をしつかり
監視する議員に**

無投票当選が決まった4月21日午後5時。あつちこつちの選挙事務所までバンザイ、バンザイのこえ。有権者の審判が得られぬ町議会議員の当選。ほんとうにこれでいいのか。いま、ポリシーなき町長のもとで、町政が大きく変質してきていると指摘する声があがっています。

緑豊かな町だと口にする一方で、緑を削って企業団地だとか企業誘致だ。さらに、公園工場の誘致だとチャランポラン論法をふりまく町長。4月27日、当選証書附与式後、町長「議会は行政の応援を…」と。行政を監視しチェックする議会、議員に向って「行

政の応援を…」と、臆面もなく言い放つ町長に、議会とは、議員とはの認識はなかくあるのは「なれあい」感覚だけです。議会も行政も緊張感まったくなしのもとで、私は、住民こそ主人公の信念のもとで、住民の暮らし第一、暮らしを守る町政実現がんばります。



丸山千代子 [68歳]
横落区 (現)
**安心して住み
続けられるまちに**

人口が増え続けており、保育園や児童クラブの待機児解消、18歳までの医療費無料化、学校給食費無料化など子育てしやすい環境づくり。「子育ても仕事も両立したい」という女性の社会参加を応援します。介護保険の改悪で要支援の介護外など自治体の役

割が問われています。利用者や家族の目線で介護体制を整え、サービスを低下させない取り組みをすすめます。名鉄バスの廃止で不便になった交通手段の確保で、えこたんバスの充実、高齢者福祉タクシー券の実現。安心して元気に過すこと

ができるように総合福祉の拠点づくりで高齢者福祉の充実をすすめます。平和であってこそその「暮らし」「福祉」です。「非核平和宣言」に取り組み、平和で安心して住み続けられるまちづくりをめざしががんばります。



編集後記

この4月30日から4年間の任期がスタートし、議会の構成も決定しました。そして私たちが新しい編集委員として、その任にあたることになりました。住民の皆さんに、開かれた議会として、その動きをわかりやすくお伝えすることができるよう努力してまいります。今後とも「こうた議会だより」をご愛読いただきますよう、お願いいたします。(酒向 弘康)

※各議員の抱負は議席番号順に掲載しています。

監査委員を選出

監査委員 (議会選出)
池田 久男(岩堀)
内田 等氏の任期満了にと
もなう。
(反対1、賛成14で同意)

議会広報特別委員会

委員長	酒向 弘康
副委員長	大嶽 弘
委員	水野千代子
〃	丸山千代子
〃	鈴木 重一
〃	稲吉 照夫
〃	伊與田伸吾
〃	足立 初雄
発行責任者	浅井 武光

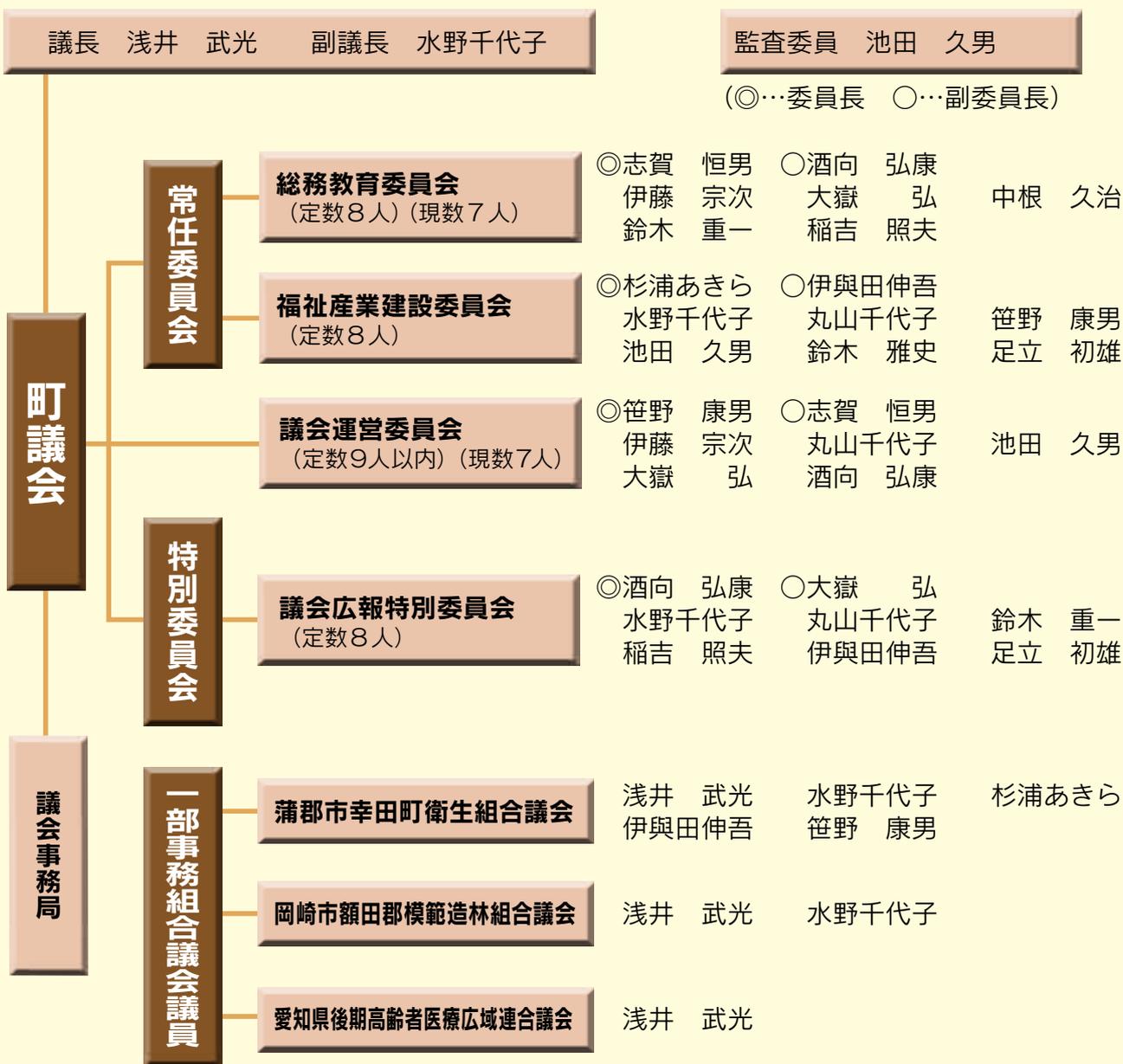


議会の構成

議長 浅井 武光 副議長 水野千代子

監査委員 池田 久男

(◎…委員長 ○…副委員長)



6月定例会の予定です。

●会期の日程

- 6月8日(月) 開会、議案の説明
- 10日(水) 一般質問
- 11日(木) //
- 16日(火) 議案の質疑
- 17日(水) //
- 18日(木) 福祉産業建設委員会
- 22日(月) 総務教育委員会
- 26日(金) 討論、採決、閉会

- 場 所 役場5階 議場 ●時 間 午前9時から
- 詳しくは議会事務局へ TEL 63-5151 (直通)

本会議及び委員会は一般に公開されており、簡単な手続きで個人でも団体でも自由に傍聴できます。町政への知識を深めたり、町議会の活動や町政の方針などを知ることができ、ぜひ傍聴(お)ください。



あなたも議会を傍聴してみませんか